



自ら考え、行動する

# 2 低学年

1年生

2年生

「えがお・げんき・なかよし」を目標に、低学年では、  
 基本的な生活習慣と自分のことは自分でする姿勢を身につけ、  
 困ったときには、どうしてほしいのか、上手に“伝える力”を養います。  
 先生や友達の話を目を見てしっかり聞き、理解しようとする“聞く力”も育てます。  
 学校生活のさまざまな場面で、自ら考え、行動できるように指導します。

子どもの声

ぼくは、マリオ先生とえいごでしゃべることが好きです。えいごのうたも教えてくれます。

1年生

ぼくは、きゅうしょくが大好きです。べんきょうをかんぱり、しっかりあそぶと、はらぺこになります。えりようまんてん、おしりきゅうしょく、さいこうです。

1年生

小学校には、虫がたくさんいます。生活の時間の虫とりでゴオロギやモンシロチョウをつかまえました。ナナフシもつかまえました。めずらしいと聞いてうれしかったです。

2年生

私がのっているスクールバスは、毎日とても楽しいです。上きゅう生たちがやさしく声をかけてくれるし、やくそくして休み時間に一緒に遊ぶこともあります。

2年生

学習指導方針

## 〔 体験学習 〕

「学びの芽生え」の時期に育まれる感性は、「気づき」を生み出す出発点です。

小学校低学年は、幼児期の遊びが生活科の学びへと移行する「学びの芽生え」の時期といわれます。植物が成長する様子を観察したり、動物を間近に見たり、さまざまな体験から育まれるしなやかな感性こそが身の回りのいろいろなことへの「気づき」を生み出す出発点となります。その気づきは、「なぜ?」「どうして?」という問いとなり、知ろうとすることが物事の理解につながります。気づきを絵に描いて表したり、言葉にして発表したりと、子どもたちは表現する力を身につけていきます。本校では、児童の自発性や自主性を生かすことに留意しながら、たくさんの気づきを生み出す体験学習を大切にしています。

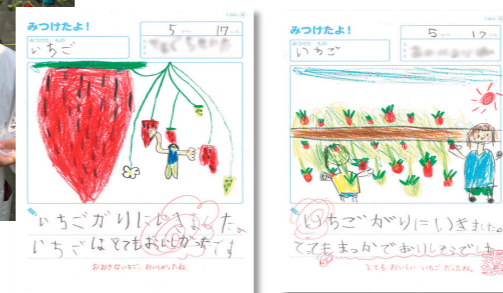
### 体験授業

- いちご狩り(1年生)
- 駅見学(2年生)
- 山の学校(1,2年生)
- 谷川体験(2年生)
- ドイツの森(1年生)
- 池田動物園(2年生)
- お祭り(1,2年生)
- 花音朗読会(1,2年生)
- いも掘り(1年生)
- みかん狩り(2年生)
- 朝日塾幼稚園との交流(2年生)
- 科学実験教室(2年生)
- 落ち葉拾い(1年生)
- 星の観望会(2年生)
- 昔からの遊び(1年生)



### いちご狩り

1年生は、5月にいちご狩りに出かけます。いちごの花や葉を観察し、実の採り方を教わったら、甘いいちごの試食です。学校に戻ったら、楽しい思い出を観察日記に記します。



### 虫取り

草木が生える“自然の教室”まで徒歩10秒。運動場や裏山で虫を捕まえることができ、虫かごに入れてじっくりと観察します。



### さつまいもの観察

iPadを使って写真を撮ったり、様子を記録したり、学校近くの畑で育つさつまいもの成長を秋の収穫まで見守り続けます。



### 動物絵画

みんなで訪れた動物園で観察した動物たちの様子を絵に描きます。動物との出会いと心に残った瞬間を自由に表現します。



### 山の学校

みんなで森の中を歩き、普段できない自然体験を通して、思いやりや自主性、友達と協力して助け合う心を育みます。